

7月11日(火)「北方領土について考えよう」

元島民2世の佐藤みゆきさんから zoom を通じてお話を聞き、全校生徒みんなが北方領土について考える取り組みをしました。遠い昔話のように感じていた生徒も、日本人が暮らした建物の跡、今も島に残る日本人の墓の映像を見たことで、私たち日本人にとってかけがえのない島だと感じる事ができたようです。また、四島の自然の豊かさ、豊富な資源や産業があることから国土としての重要さに政治的な解決は簡単ではないということ考えることができました。

77 年も前に終わったはずの戦争が今なお領土問題として残っていることへの驚きがありました。それと同時に、戦後ロシア人が島で暮らしロシアの人々にとっても大切な故郷になっていることなどから、「ロシア人と日本人が友好関係を築き互いを思いやる気持ちをもつべきだ。」など様々な意見が生徒から出ました。

佐藤さんからは、「領土を急に失った日本人と同じ思いをするロシア人が出ないようお互いの国の理解や友好関係を築きたいと思っています。そのためにも歴史を正しく知り、北方領土は日本の領土であることを政治的にもはっきりさせ、一人でも多くの日本人が大事な島だと考えることが大事だと考えてほしいです。」というお話をいただきました。

私たちみんなが知って真剣に考えるべき問題だと多くの生徒が感じ、真剣に考えることができた取り組みとなりました。



zoom で佐藤さんに質問する様子